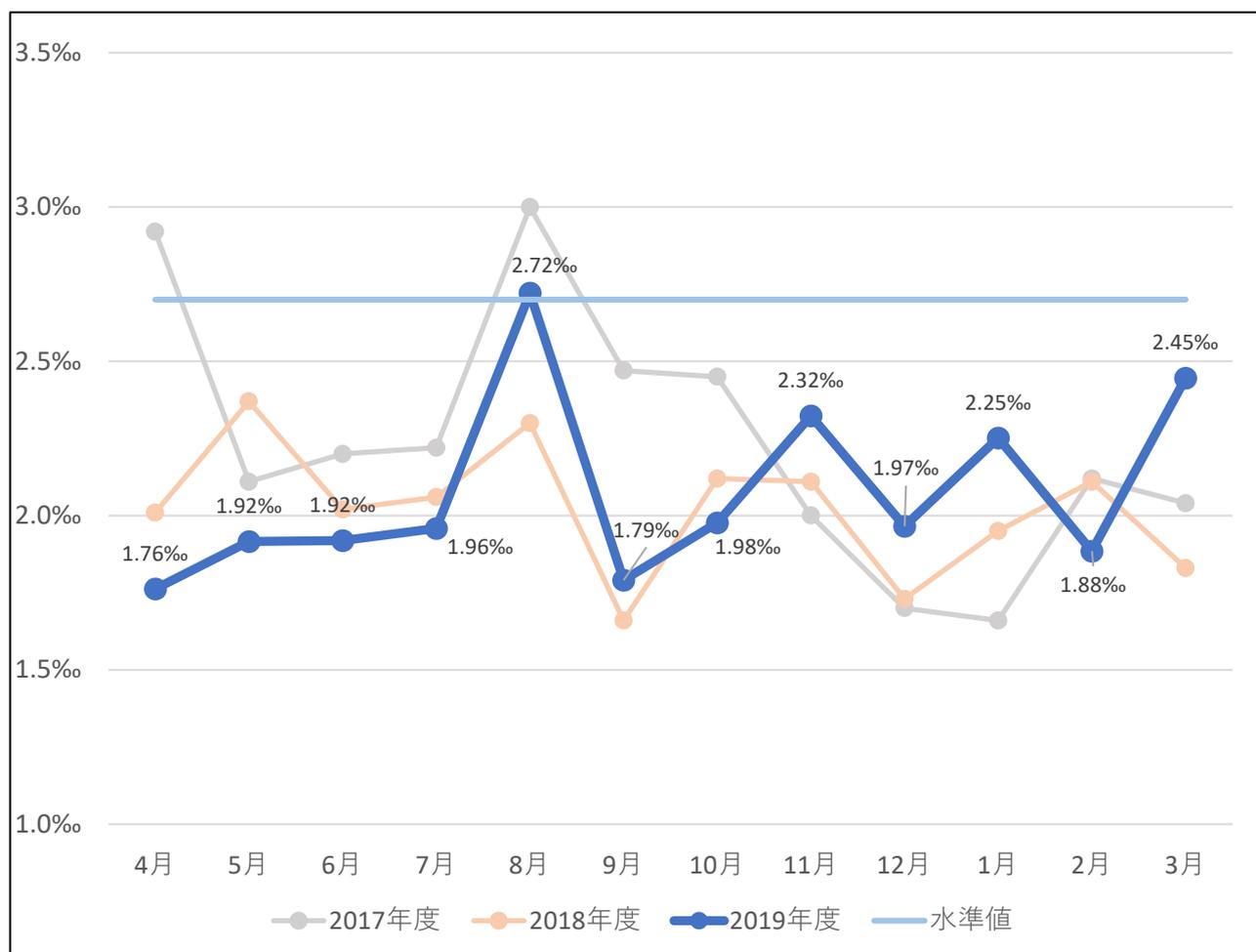


## 2.入院患者の転倒・転落発生率



分子	入院中の転倒・転落件数（インシデント報告提出件数）
分母	入院延べ患者数
水準値	2.70‰（2018年度QIプロジェクト参加施設の平均値）
説明・考察	<p>[指標の意義]</p> <p>入院中は身体的状況、薬剤による影響、生活環境の変化などにより転倒・転落のリスクが高まります。転倒・転落の発生は患者の転帰に悪影響を及ぼします。転倒・転落発生率を継続的にモニタリングし、その傾向を把握することで転倒・転落予防策が有効であるか確認できます。</p> <p>[考察]</p> <p>QIプロジェクト参加病院の平均値を概ね下回ったものの、2018年度より年間平均発生率は高い結果となりました。</p> <p>今後も転倒リスクの評価と患者さん個々の転倒リスクに応じた予防策の実施を継続することで、さらに発生率を低減できるものと思われれます。</p>